

# 経済部文化観光局観光課

## 1 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

### (1) 重点事業

#### ア 皆生温泉魅力づくり事業及び誘客事業

- ・皆生温泉海遊ビーチの開設・運営
- ・海浜施設の増設及び環境設備の拡充
- ・ナイトタイムエコノミー（夜間消費拡大）促進事業
- ・海浜を活用したアクティビティ拡大事業
- ・皆生温泉魅力UP事業
- ・「WINTER SWIMMING in KAIKE2024」イベントの開催
- ・皆生温泉エリア経営実行委員会への参画

#### イ 米子市国際観光案内所開設業務委託事業

- ・JR米子駅リニューアルに伴う新観光案内所の新設工事（外部建具）を実施
- ・建築デザイン・設計業務の実施

#### ウ JR米子駅リニューアルPR事業

- ・「大鉄道博in米子」開催に合わせた食イベントを開催
- ・第10回記念ネギ来まつり&山陰鉄道発祥120周年記念米子駅まつりの開催
- ・米子駅新駅舎・がいなロード完成記念イベントへの協力
- ・山陰鉄道巡りパンフレットの作成
- ・米子駅新駅舎開業記念オリジナル弁当の販売

#### エ 城下町米子及び圏域周遊促進事業

- ・米子牛骨ラーメンスタンプラリー2023の実施
- ・冬のダイヤモンド大山観望会の実施
- ・米子城オレンジロード観望会の実施
- ・475パフェ普及促進事業
- ・電動ファットバイク（BRONX）レンタルキャンペーンの実施

#### オ 情報発信強化事業

- ・米子市地域おこし協力隊及び米子市国際観光案内所職員によるSNSに特化した観光の情報発信を実施
- ・米子市地域おこし協力隊による各種メディア出演

### (2) 新規事業

#### ア インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けたコンテンツ造成支援事業

- ・モニターツアーの実施（2回）
- ・多言語パンフレットの作成
- ・訪日外国人向け情報サイト「MATCHA」での情報発信

#### イ 「ととのうとっとりサウナフェス2023」への協力

#### ウ 「リベンジMICEの集い～米子の学会を盛り上げる～」への協力

#### エ 「第37回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会」への協力

(3) 継続事業

- ・ 宣伝対策事業
- ・ 大人達の社会見学の実施（受付・手配）
- ・ 皆生温泉ニューツーリズム創造事業
- ・ まちなか観光推進事業
- ・ 広域連携・観光誘客事業
- ・ 米子ふるさと観光大使関連事業（関係人口の強化事業）
- ・ スポーツ観光推進事業
- ・ 神話・歴史観光推進事業
- ・ 二次交通に関する事業
- ・ 米子桜まつりの開催
- ・ 米子城・城下町観光拠点強化事業
- ・ 看板・印刷物関係事業
- ・ 指導育成事業
- ・ 収益事業の促進
- ・ 皆生遊歩道清掃事業
- ・ 観光協会組織の充実
- ・ 会議・研修会等（協会主催、共催会議のみ）
- ・ 米子市国際観光案内所委託運営

◇米子市国際観光案内所年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
182件	3,961件	3,472件	1,016件	4,678件	13,309件

2 皆生温泉にぎわい創出事業

皆生温泉旅館組合、鳥取県及び米子市で組織する皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会において以下の事業を行った。

(1) 地域資源保全事業の推進

アフターコロナの社会経済活動が活発化していく中で、賑わいづくりのベースとなる温泉・拠点施設・街並み・海岸などの地域資源を環境変化に合わせて維持・活用していくための取組を行った。

(2) 地域資源活用事業の推進

アフターコロナの観光・レジャー需要を取り込むため、海岸、温泉（街）、サイクリングロードなどの地域資源を活用したイベント開催や各種サービスの提供を行い、通年での賑わい創出を図った。

(3) 誘客促進・ファンづくり事業

アフターコロナの社会経済活動が活発化していく中で、県・市などと連携した海外・県外での宣伝活動再開、周辺観光地や企業・団体との共同プロモーション継続、情報発信・観光案内・販売促進ツールの更新・拡充など、暫く停滞を余儀なくされた誘客活動を再起動した。また、地元団体との連携により皆生温泉の日帰り利用を促す取組を行うなど、地元ファン獲得にも努めた。

3 皆生みらいの灯り推進事業

皆生温泉エリアならではの海・砂浜・温泉街を灯りのデザインにより一体的な夜間景観へ修景することで、安心安全な歩行者空間に整備するとともに、ナイトタイムエコノミーに資する経済活動を誘因する基盤整備に取り組んだ。皆生海浜公園以西区間300mの海岸遊歩道に街灯10基を新設した。

#### 4 皆生温泉エリア経営実行委員会における皆生温泉のまちづくりの推進

皆生温泉関係者、地元金融機関、観光団体、建築デザイナー等で組織する「皆生温泉エリア経営実行委員会」の事務局として、毎月の実行委員会の運営と以下の事業実施の伴走を行った。

##### (1) 空間活用実証実験の実施

###### ア まちあるき回遊促進実証実験「うごくまちぐるぐるかいけ」の開催

皆生温泉地内の来街者の滞在時間延長・消費額向上・低未利用地所有者の活用機運醸成、事業者の新規投資機運醸成に取り組むため、低未利用地に飲食店などを出店させ、来街者の回遊モデルの実証実験を6回実施した。

###### イ 水一広場（スイッチひろば）の毎月開催

毎月第一水曜日、低未利用地で簡易な飲食提供と滞留空間を設営した空間活用実験を実施し、低未利用地の流動化に係る課題について地権者・建物オーナー、住民、事業者、当委員会メンバーが一堂に会し確認し、事業者と地権者のマッチング機会として活用することで、5店舗が新規開業した。民地3か所、官地1か所で10回開催。

##### (2) 空き不動産ツアー・マッチング事業の実施

皆生温泉地内の空き物件や空き地等の市場流動化促進を目的とし、出店可能性のある土地・建物を対象に、空き不動産ツアーを13回実施し、延べ60名が参加した。また、進出検討事業者と空き不動産オーナーとマッチングし、テナント化の検討支援を実施した。

##### (3) 宿泊施設改修デザイン提案の実施

宿泊施設事業者が観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」を活用し、外構の改修検討するにあたり、皆生温泉エリアのまちなみの高質化を目的にデザイン提案を実施し、5事業者が採用し、宿泊施設の整備を実施した。

##### (4) 駐車場シェアリングサービス登録拡大による日帰り駐車場整備

地域住民や市民の日常的な来街機会を支えるための環境作りとして、予算や維持コストをかけない仕組みで旅館やエリア内事業者が所有する駐車場をシェアするサービスの拡大に取り組み、令和4年度109台に32台を追加拡大することができた。（累計登録台数141台）

##### (5) まちなみデザインの検討

今後、官民の多様な整備主体が各所管施設・土地を整備検討する際、参考となるまちなみデザイン策定を目的として、住民・事業者等とのワークショップ（べちやくちやかいけ：3回実施、延べ60人参加）を通じて、検討・策定した。

##### (6) カイケエリアデザインスクールの実施

皆生温泉のまちづくりの関わり代の拡大・人材の発掘と育成を目的に、3つのテーマ（店舗開業・ものづくり、広報）で計7回の講義を実施し、延べ82人が参加した。

##### (7) 情報発信

###### ア KAIKE PRESS（カイケプレス 紙媒体）の発行

皆生温泉のまちづくりの取組状況を、毎月一回地域住民向けの紙媒体（ニュースレター）として発信した。

配布先：福生西・東エリアの各自治会の班回覧、福生西・東公民館

皆生温泉エリア内事業所、米子市観光センター

日本海新聞折り込みチラシ（皆生温泉エリア周辺の2,500世帯）

イ ポータルサイト及びSNSによる発信、ポータルサイト「かいけラボ」の運営

当実行委員会の取組やまちづくりの情報をリアルタイムで発信した。（99記事）

「皆生温泉で何かやってみよう」と思わせる行動変容を促すユニークな記事を多数掲載しており、未来のまちづくり人材の誘引や、来街者増を狙うとともに、紙媒体であるカイケプレスと連動しながら記事を投稿した。紙媒体のカイケプレスのアーカイブも閲覧可能。

・ SNS（Facebook, Instagram, Twitter）の運用

ポータルサイト「かいけラボ」と連動させた発信や、各媒体の特性（読み手、アルゴリズム）に合わせた発信を実施した。

X：120ポスト、インスタグラム144投稿、フェイスブック144投稿

## 5 米子市にきないや！観光支援事業

新型コロナウイルス感染症の制限緩和等で旅行機運が回復する中、「米子城跡」や「皆生温泉」を中心とした本市観光資源を県外にPRするため、米子市への誘客促進を図る観光特集記事を多様なメディア媒体で掲載し、露出強化を行った。

・掲載媒体：じゃらん、楽天トラベル、JR京阪神車内中吊りポスター、JR西日本主要駅デジタルサイネージ  
広告、中国新聞、山陽新聞、大阪日日新聞、日本海新聞、神戸新聞、産経新聞

## 6 インバウンド対策の推進

米子空港への国際定期路線の運航再開、国際チャーター便の増加、クルーズ客船の寄港回復、2025年大阪・関西万博開催などの機会を捉えてインバウンド観光客を本市に誘客することを目的に以下の事業を実施した。

### (1) 観光庁「広域周遊観光促進のための専門家派遣事業」を活用した専門家派遣

観光庁「広域周遊観光促進のための専門家派遣事業」を活用し、韓国インバウンド専門家の派遣要請を行い、米子市及び米子市内の事業者が抱えるインバウンドに関する問題等のヒアリング、それを基にした市内視察を実施し、今後米子市として取り組むべき施策等について助言を受けた。

### (2) 韓国インバウンド対策セミナーの開催

韓国インバウンドの専門家を講師とし、米子市内の事業者を対象に対韓国のインバウンドに関する最新情報と、地元企業・団体にとって収益を確保しながら渡航客の満足度を高めるための具体的な施策・方法を解説するセミナーを11月28日に米子商工会議所で開催した。

### (3) 韓国人インフルエンサーを活用した情報発信

本市に韓国人インフルエンサーを招へいし、米子市内（一部米子市外を含む）の観光施設等を巡る3泊4日のファムツアーを実施したのち、ファムツアーで巡った観光施設等を中心に「NAVER Blog」への記事掲載を行うことにより情報発信を行った。

### (4) 台北温泉祭りでの情報発信

11月1日から11月6日まで台北市の北投温泉で開催された「台北温泉祭り（台北温泉季2023）」に中海・宍道湖・大山圏域市長会及び皆生温泉旅館組合と参加し、皆生温泉としてブース出店することで、観光PRを行った。また、台北市温泉関係者との懇談や意見交換による交流促進を図った。

### (5) 多言語パンフレット（繁体字）の改修・増刷

インバウンド観光客の誘客促進及び受入環境整備を目的に、2019年に作成した多言語パンフレット（TW Travel Guides）の改修・増刷を行った。（繁体字のみ）

## (6) 国際定期便の利用促進

米子鬼太郎空港と海外を結ぶ国際定期便の米子ソウル便、米子香港便について「国際定期便利用促進協議会」を通じ、路線の利用促進活動を行った。

## 7 大山山麓・日野川流域観光推進協議会における 広域観光の推進

令和5年度は、3か年の地方創生推進交付金計画《「観光から関係人口・企業移転」までを「標高0mから大山頂上」で切れ目なく受け入れ、来訪者の幸せ実現をめざす大山・日野川圏域》の最終年として、以下の取組を展開した。

### ※構成自治体

米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、日野町、日南町、倉吉市、琴浦町、鳥取県西部総合事務所

#### (1) 関係人口の滞在促進について広域連携によりワンストップで対応

一般観光客から関係人口までを含む幅広い滞在促進について、サイクルツーリズム、歴史・文化的な地域資源を活用したモニターツアー、ライトアップなどによる街歩きの誘導イベントを実施するとともに、「サイクリング」、「刀剣たたら」を切り口とした他圏域と連携しての滞在時間延長に取り組んだ。

#### (2) 関係人口の創出・拡大および地域の収益向上に向けた取組

《関係人口の創出・拡大》について、圏域で「関係人口×観光×収益向上」の先駆モデルを確立し、圏域全体への普及展開を目指すため、地域資源を活用した広域的な農泊やサステナブルな体験を組み込んだモニターツアー、民間事業者のモデル的取組の支援、メディアプロモーションによる情報発信を実施した。

また、観光コンテンツ造成、販路開拓、情報発信など観光施策のより効率的かつ効果的な実施に向け、大山山麓・日野川流域における観光動向分析調査を行い、圏域における国内観光客及び訪日外国人の動態に関する詳細なデータを取得した。

#### (3) 民間参画を念頭に置いた組織のあり方検討

本協議会のあり方検討に関しては、令和3年度に首長会議及び専門家会議で定まった官民連携の一層の深化及び稼げる広域観光の推進に向けた体制づくりの第一歩として「各市町観光協会による民間参画を主として行う」という基本的な方向性にに基づき、令和5年度当初から各市町観光協会が参画する新体制へ移行した。

#### (4) 地方創生推進交付金対象外事業

観光周遊タクシーによる圏域の二次交通対策、「日本遺産PR事業」「大山山麓の謎解き宝探し」、「つながるマルシェ」、「酒蔵ツーリズム事業」など複数の継続事業において地域への定着を図り、民間事業者と連携した取組を推進した。

## 8 米子市、境港市、安来市、松江市、出雲市の5市との連携

平成31年2月に設立承認された「中海・宍道湖・大山圏域観光局」と連携し、圏域インバウンドプロモーション、国内広域観光プロモーション、人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業、圏域観光再生支援プログラム、圏域周遊促進及び受入環境充実などの事業を実施し、情報発信を行い、認知度向上と観光誘客を図った。

9 中海・錦海かわまちづくり計画の推進

国・県・市の3者協調事業である「中海・錦海かわまちづくり計画」について、工事間調整協議を進めるとともに、広場等整備に必要な国有地を買収した。

10 JR西日本との連携

JR西日本と連携して以下の取組を行い、観光誘客及び認知度向上を図った。

- (1) 「WEST EXPRESS 銀河」の運行に合わせて、米子駅にて、境港市や観光団体と協力して特産品の販売や、観光パンフレット及びノベルティ配布などのおもてなしを実施した。
- (2) JR西日本の企画「サイコロきっぷ」において、米子への来訪者に対して着地特典を提供した。

11 米子市観光センターの管理運営業務

- (1) 山陰観光の拠点として、昭和58年4月から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引き続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託している。皆生温泉の観光案内、旅館のあつ旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

- (2) 年間利用状況（テナント、広告看板、バス停利用を除く）

ア 観光案内 11,160件、20,620人

イ 施設利用

区分	多目的ホール	会議室	料理研修室	和室	第1展示ホール	第2展示ホール	第3展示ホール	合計
件数	412件	548件	27件	224件	366件	16件	40件	1,633件
人員	9,318人	5,892人	198人	1,333人	0人	157人	148人	17,046人

ウ 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合

指定管理委託料 3,518,000円

12 米子コンベンションセンター管理運営業務

- (1) 米子コンベンションセンター（米子国際会議場を含む）を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

- (2) 米子国際会議場指定管理委託先 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

指定管理委託料 64,710,205円

[米子国際会議場利用状況]

大会式典	講演会	会議・研修会	その他会議	展示会見本市	音楽芸能	その他	計
15件	12件	48件	29件	6件	6件	0件	116件

利用日数 322日 稼働率 64.3%

13 コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、(財)とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

件数	参加者数	延宿泊者数	交付額 (米子市負担額)
26件	10,014人	11,911人	14,234,000円 (7,117,000円)

1.4 「ととのうよなご」サウナツーリズム推進事業

(1) 鳥取県と連携して日本サウナ学会総会2023及び、「ととのうとっとり」サウナフェスの開催。

ア 日本サウナ学会総会2023

- ・開催日：令和5年11月25日（土）
- ・会場：皆生グランドホテル天水「グランドパレス」
- ・参加者：87名（登壇者・来賓・スポンサー等含め計126名参加。）

イ 「ととのうとっとり」サウナフェス

- ・開催日：令和5年11月25日（土）・26日（日）
- ・会場：皆生海浜公園
- ・参加者：2日間で延べ1,000名 ※有料サウナエリアは166名参加

(2) 米子市内のサウナ施設（6施設）を紹介するフリーペーパー「KirariTabi米子でととのうサウナ旅」の発行を行ない、米子市サウナの魅力を全国に発信し、サウナツーリズムの促進を図った。

- ・発行部数：7,500部

1.5 観光関連団体との連携

日本観光振興協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、山陰インバウンド機構等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

1.6 米子市ロゴマーク・イメージキャラクターの活用

(1) イベント等への貸出

ヨネギーズの着ぐるみを各種イベントに35回貸し出した。

(2) 印刷物・キャラクターグッズとしての活用

米子市が発行する各種印刷物や職員の名刺・名札に活用されているほか、市内外事業者・市民などに合計49回活用された。

1.7 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

1.8 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。